

スクールカウンセラーだより

No.1



令和8年4月

スクールカウンセラー 中野隆治



「可能性」



春、4月、新しい環境があなた方を迎えてくれる季節になりました。新しい年度を、それにふさわしい意気込みで迎えてほしいと思います。自分には可能性があって、今、その実現途上にいる。今しかない。そう考えてください。可能性をいつしか、自分の手でつかみ取ってください。

好きな宮沢賢治の詩に、こんな短い5行があります。

ひ
陽が照って鳥が啼き

あちこちの檜の林も、

けむるとき

ぎちぎちと鳴る 汚い掌を、

おれはこれからもつことになる

(宮沢賢治『春』)

数年間勤めた花巻農学校の教職を退き、これまで教えていた生徒達とも別れ、実際に自分の手を汚して、大地の作物と格闘するという意気込みが感じられる詩です。たった5行の短い詩から、新しい世界に跳躍しようとする人の、勇気や意気込みを感じてもらえればと思います。

ひるがえってみなさんはどうでしょうか。高校に入学し、あるいは進級し、次のステップを考える時、今でいいのだろうかとふと考えることはないでしょうか。そう考えた時が、実はチャンスなのかもしれません。次のステップをみざすことが、人の生き方の基本であると言っていいと思うのです。ただ、その時、^{あせ}焦りや自分でもどうにもならないジレンマに^{おちい}陥ることがよくあります。それは人との関係でもそうです。なぜうまくいかないのかと、悩むことが多くなるのも今なのです。

そんな自分に悩んでいる人がいたら、なるべく早いうちにカウンセリング室に来てください。みなさんの悩みの解決の手助けをするとともに、みなさんの可能性のヒントについても話すことができるかもしれません。

本校では、スクールカウンセラーとして中野隆治、小林華織の2名がいます。みなさんの訪れを心待ちにしています。

<相談日時> 毎週 月・水・木・金曜日 10:00~17:00 保護者の方の来談もお待ちしています。

<相談場所> カウンセリング室(特別棟1階 保健室隣)

<申し込み方法> 保健室や担任の先生に申し込むか、直接または電話(Tel046-833-3433)でお願いします。